

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月21日
【四半期会計期間】	第128期第2四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社ニチリン
【英訳名】	NICHIRIN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 清水 良雄
【本店の所在の場所】	神戸市中央区江戸町98番地1 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	（079）252-4151（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 森本 幾雄
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市別所町佐土1118番地（姫路工場）
【電話番号】	（079）252-4151（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 森本 幾雄
【縦覧に供する場所】	株式会社ニチリン東京支社 （東京都港区芝浦一丁目3番11号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社内部監査室の監査において、当社の連結子会社であるニチリン テネシー インク（米国 テネシー州 ルイスバーク市：以下NNT社）において、不適切な会計処理が行われていたことが判明し、当社の連結業績に影響を与えることが明らかになりました。

このため、当社は、平成24年9月3日に社内調査チーム（委員長 代表取締役社長 清水良雄）を編成し、その調査を経て、平成24年9月28日に調査委員会（委員長 木下卓男（弁護士））を設置し、本件に関する事実関係（過年度決算への影響を含む）の調査・解明に着手してまいりました。

調査委員会による調査により、NNT社の平成23年第4四半期から平成24年第2四半期において棚卸資産に計上した金額については、在庫数量を操作することにより実際の在庫金額よりも過大に計上していることが明らかとなり、同社の会計処理が適切でないことが分かりました。

この調査結果に基づき、当社は過年度における棚卸しデータの再計算を行ったうえで実在庫有高を算定しました。

その結果、在庫数量の不正操作はありませんでしたが、会計処理の誤謬（仕入の計上基準の誤り）が判明したため、四半期連結財務諸表の訂正が必要となりましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成23年8月10日に提出いたしました第128期第2四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所につき、XBRLデータの訂正を行いましたので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を関連書類として提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより、改めて四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 1 生産、受注及び販売の状況

###### (1) 生産実績

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 業績の状況

###### (2) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 2 監査証明について

#### 1 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

##### (2) 四半期連結損益計算書

##### 第2 四半期連結累計期間

##### 第2 四半期連結会計期間

##### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

###### (セグメント情報等)

###### セグメント情報

##### 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

###### (1株当たり情報)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所には\_\_線を表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第127期 第2四半期 連結累計期間	第128期 第2四半期 連結累計期間	第127期 第2四半期 連結会計期間	第128期 第2四半期 連結会計期間	第127期
会計期間	自平成22年 1月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 12月31日
売上高 (千円)	17,931,958	15,607,574	9,227,387	6,806,767	36,298,651
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	992,619	<u>183,010</u>	568,176	<u>249,204</u>	1,690,325
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 ( ) (千円)	614,288	<u>119,017</u>	370,125	<u>372,597</u>	880,883
純資産額 (千円)	-	-	10,255,962	<u>10,001,673</u>	10,326,054
総資産額 (千円)	-	-	30,910,143	<u>28,691,744</u>	30,430,408
1株当たり純資産額 (円)	-	-	1,065.18	<u>1,040.50</u>	1,069.51
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額 ( ) (円)	68.32	<u>13.24</u>	41.17	<u>41.45</u>	97.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	31.0	32.6	31.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,405,702	21,775	-	-	1,499,200
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	901,944	397,476	-	-	1,151,614
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,030,625	274,040	-	-	564,170
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	5,234,043	3,839,721	4,481,554
従業員数 (人)	-	-	1,378	1,305	1,300

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第128期第2四半期連結累計期間および第128期第2四半期連結会計期間については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、第127期第2四半期連結累計期間、第127期第2四半期連結会計期間および第127期については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第127期 第2四半期 連結累計期間	第128期 第2四半期 連結累計期間	第127期 第2四半期 連結会計期間	第128期 第2四半期 連結会計期間	第127期
会計期間	自平成22年 1月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 12月31日
売上高 (千円)	17,931,958	15,607,574	9,227,387	6,806,767	36,298,651
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	992,619	<u>165,943</u>	568,176	<u>220,916</u>	1,690,325
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 ( ) (千円)	614,288	<u>129,199</u>	370,125	<u>354,688</u>	880,883
純資産額 (千円)	-	-	10,255,962	<u>9,991,674</u>	10,326,054
総資産額 (千円)	-	-	30,910,143	<u>28,660,613</u>	30,430,408
1株当たり純資産額 (円)	-	-	1,065.18	<u>1,039.38</u>	1,069.51
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額 ( ) (円)	68.32	<u>14.37</u>	41.17	<u>39.46</u>	97.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	31.0	32.6	31.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,405,702	21,775	-	-	1,499,200
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	901,944	397,476	-	-	1,151,614
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,030,625	274,040	-	-	564,170
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	5,234,043	3,839,721	4,481,554
従業員数 (人)	-	-	1,378	1,305	1,300

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第128期第2四半期連結累計期間および第128期第2四半期連結会計期間については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、第127期第2四半期連結累計期間、第127期第2四半期連結会計期間および第127期については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同四半期比(%)
日本(千円)	3,939,673	-
北米(千円)	<u>1,497,685</u>	-
中国(千円)	968,110	-
アジア(千円)	164,797	-
欧州(千円)	310,394	-
合計(千円)	<u>6,880,661</u>	-

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同四半期比(%)
日本(千円)	3,939,673	-
北米(千円)	<u>1,534,711</u>	-
中国(千円)	968,110	-
アジア(千円)	164,797	-
欧州(千円)	310,394	-
合計(千円)	<u>6,917,688</u>	-

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)における世界経済は、中国・インド・アセアン地域を中心とした新興国経済においては、内需拡大により好調に推移しましたが、米国経済は、失業率の高止まりや住宅関連指標が低迷するなど、緩やかな回復基調にあった景気に陰りが見え始め、弱含みで推移しました。また、欧州経済は、一部の国で財政状況の悪化が見られるなど、減速感が強まりました。

一方、国内経済は、企業収益や個人消費の持ち直し等により緩やかに回復していましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動が停滞し雇用不安が拡大するなか、個人消費も大きく落ち込み、低調に推移しました。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界の状況は次のとおりであります。

日本では、東日本大震災の影響を受け、サプライチェーンの寸断により自動車業界の生産活動が大きく制限されました。その後、当初予測より生産の回復は早く進んでおりますが、原発事故にともなう大幅な節電要請や、円高の影響により、厳しい経営環境となっております。また、この震災の影響は海外の生産拠点へも波及しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間における国内四輪車販売台数は、前年同期比33.1%減の77万台、四輪車輸出台数は前年同期比37.9%減の73万台、国内四輪車生産台数は、前年同期比33.8%減の152万台となり、各指標とも大幅に減少しました。また、国内乗用車メーカー8社の海外生産台数も前年同期比13.7%減の267万台となりました。

このような環境のなか、当第2四半期連結会計期間の連結売上高は6,806百万円(前年同期9,227百万円)、営業損失は279百万円(前年同期 営業利益555百万円)、経常損失は249百万円(前年同期 経常利益568百万円)、四半期純損失は372百万円(前年同期 四半期純利益370百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用したことに伴い、セグメントの区分を以下のように変更しております。

(今回)報告セグメント : 「日本」、「北米」、「中国」、「アジア」、「欧州」

(従来)所在地別セグメント : 「日本」、「北米」、「アジア」、「その他(欧州)」

#### 日本

震災により、国内四輪メーカーからの受注が4月～5月で半減し、売上高は5,435百万円(前年同期7,043百万円)となりました。利益面は、コスト削減に努めましたが、売上高減少および円高により営業損失326百万円(前年同期 営業利益246百万円)となりました。

#### 北米

震災や換算時の円高による影響により、売上高は1,325百万円(前年同期2,126百万円)となり、営業損失は57百万円(前年同期 営業利益71百万円)となりました。

#### 中国

震災の影響により日本からの材料供給の停滞の影響もあり、売上高は1,216百万円、営業利益は96百万円となりました。

#### アジア

アセアン地域の経済は堅調に推移しており、売上高は205百万円となりました。利益面は、ベトナム子会社(ニチリン ベトナム カンパニー リミテッド)でのブレーキホースの管体量産に備えた試作・作業教育などの生産前費用や昨年10月に設立したインド販売子会社(ニチリン オートパーツ インディア プライベート リミテッド)の初期費用などのコスト増により、営業損失2百万円となりました。

#### 欧州

震災の影響が軽微であり、売上高は285百万円(前年同期307百万円)となり、営業利益は11百万円(前年同期15百万円)となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第1四半期連結会計期間

末に比べ117百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は3,839百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は387百万円の減少(前年同期比1,172百万円収入が減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失245百万円(資金の減少)、減価償却費231百万円(資金の増加)、賞与引当金の減少171百万円(資金の減少)、売上債権の減少937百万円(資金の増加)、仕入債務の減少1,137百万円(資金の減少)、利息及び配当金の受領110百万円(資金の増加)、法人税等の支払額120百万円(資金の減少)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は96百万円の減少(前年同期比333百万円支出が減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得184百万円(資金の減少)、定期預金の減少81百万円(資金の増加)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は374百万円の増加(前年同期比185百万円収入が増加)となりました。これは借入金の純増加499百万円(資金の増加)、少数株主への配当金の支払い124百万円(資金の減少)等によるものであります。

(訂正後)

(1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)における世界経済は、中国・インド・アセアン地域を中心とした新興国経済においては、内需拡大により好調に推移しましたが、米国経済は、失業率の高止まりや住宅関連指標が低迷するなど、緩やかな回復基調にあった景気に陰りが見え始め、弱含みで推移しました。また、欧州経済は、一部の国で財政状況の悪化が見られるなど、減速感が強まりました。

一方、国内経済は、企業収益や個人消費の持ち直し等により緩やかに回復しておりましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動が停滞し雇用不安が拡大するなか、個人消費も大きく落ち込み、低調に推移しました。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界の状況は次のとおりであります。

日本では、東日本大震災の影響を受け、サプライチェーンの寸断により自動車業界の生産活動が大きく制限されました。その後、当初予測より生産の回復は早く進んでおりますが、原発事故にともなう大幅な節電要請や、円高の影響により、厳しい経営環境となっております。また、この震災の影響は海外の生産拠点へも波及しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間における国内四輪車販売台数は、前年同期比33.1%減の77万台、四輪車輸出台数は前年同期比37.9%減の73万台、国内四輪車生産台数は、前年同期比33.8%減の152万台となり、各指標とも大幅に減少しました。また、国内乗用車メーカー8社の海外生産台数も前年同期比13.7%減の267万台となりました。

このような環境のなか、当第2四半期連結会計期間の連結売上高は6,806百万円(前年同期9,227百万円)、営業損失は251百万円(前年同期 営業利益555百万円)、経常損失は220百万円(前年同期 経常利益568百万円)、四半期純損失は354百万円(前年同期 四半期純利益370百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用したことに伴い、セグメントの区分を以下のように変更しております。

(今回)報告セグメント：「日本」、「北米」、「中国」、「アジア」、「欧州」

(従来)所在地別セグメント：「日本」、「北米」、「アジア」、「その他(欧州)」

日本

震災により、国内四輪メーカーからの受注が4月～5月で半減し、売上高は5,435百万円(前年同期7,043百万円)となりました。利益面は、コスト削減に努めましたが、売上高減少および円高により営業損失326百万円(前年同期 営業利益246百万円)となりました。

北米

震災や換算時の円高による影響により、売上高は1,325百万円(前年同期2,126百万円)となり、営業損失は28百万円(前年同期 営業利益71百万円)となりました。

中国

震災の影響により日本からの材料供給の停滞の影響もあり、売上高は1,216百万円、営業利益は96百万円となりました。

アジア

アセアン地域の経済は堅調に推移しており、売上高は205百万円となりました。利益面は、ベトナム子会社(ニチリン ベトナム カンパニー リミテッド)でのブレーキホースの管体量産に備えた試作・作業教育などの生産前費用や昨年10月に設立したインド販売子会社(ニチリン オートパーツ インディア プライベート リミテッド)の初期費用などのコスト増により、営業損失2百万円となりました。

欧州

震災の影響が軽微であり、売上高は285百万円(前年同期307百万円)となり、営業利益は11百万円(前年同期15百万円)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、第1四半期連結会計期間末に比べ117百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は3,839百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。



( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動による資金は387百万円の減少(前年同期比1,172百万円収入が減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失217百万円(資金の減少)、減価償却費231百万円(資金の増加)、賞与引当金の減少171百万円(資金の減少)、売上債権の減少937百万円(資金の増加)、仕入債務の減少1,149百万円(資金の減少)、利息及び配当金の受領110百万円(資金の増加)、法人税等の支払額120百万円(資金の減少)等によるものであります。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動による資金は96百万円の減少(前年同期比333百万円支出が減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得184百万円(資金の減少)、定期預金の減少81百万円(資金の増加)等によるものであります。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動による資金は374百万円の増加(前年同期比185百万円収入が増加)となりました。これは借入金の純増加499百万円(資金の増加)、少数株主への配当金の支払い124百万円(資金の減少)等によるものであります。

## 第5【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の第128期第2四半期に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,920,813	4,644,369
受取手形及び売掛金	5,784,648	6,972,215
商品及び製品	<u>1,502,964</u>	1,282,782
仕掛品	<u>1,832,964</u>	1,642,705
原材料及び貯蔵品	<u>706,232</u>	657,581
繰延税金資産	149,843	189,708
その他	<u>879,579</u>	1,063,701
貸倒引当金	35,524	47,149
流動資産合計	<u>14,741,521</u>	16,405,912
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,944,567	6,885,829
減価償却累計額	4,380,636	4,321,088
建物及び構築物(純額)	<u>2,563,931</u>	<u>2,564,740</u>
機械装置及び運搬具	12,729,778	12,644,964
減価償却累計額	9,887,968	10,344,027
機械装置及び運搬具(純額)	<u>2,841,809</u>	<u>2,300,937</u>
土地	3,517,896	3,523,732
その他	2,269,661	2,234,355
減価償却累計額	2,096,704	2,042,186
その他(純額)	<u>172,957</u>	<u>192,169</u>
建設仮勘定	163,590	567,499
有形固定資産合計	<u>9,260,184</u>	<u>9,149,079</u>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	15,601	28,080
その他	191,576	191,007
無形固定資産合計	<u>207,178</u>	<u>219,088</u>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,035,929	3,144,807
繰延税金資産	<u>867,918</u>	920,345
その他	599,757	610,648
貸倒引当金	20,746	19,472
投資その他の資産合計	<u>4,482,858</u>	<u>4,656,328</u>
固定資産合計	<u>13,950,222</u>	<u>14,024,495</u>
資産合計	<u>28,691,744</u>	<u>30,430,408</u>

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	6,246,220	7,284,108
短期借入金	160,695	324,522
1年内返済予定の長期借入金	1,624,345	1,550,303
未払法人税等	53,966	123,956
繰延税金負債	5,813	3,841
賞与引当金	73,578	75,718
その他	1,486,134	1,456,023
流動負債合計	<u>9,650,753</u>	10,818,474
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,933,666	3,906,771
再評価に係る繰延税金負債	1,094,202	1,094,202
繰延税金負債	9,677	26,313
退職給付引当金	3,406,107	3,564,241
役員退職慰労引当金	147,480	166,740
負ののれん	5,493	7,374
その他	442,689	520,235
固定負債合計	<u>9,039,317</u>	9,285,879
負債合計	<u>18,690,070</u>	20,104,353
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,729,000	1,729,000
資本剰余金	1,655,608	1,655,608
利益剰余金	5,635,224	5,824,269
自己株式	6,509	6,062
株主資本合計	<u>9,013,323</u>	9,202,815
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	659,305	694,108
土地再評価差額金	1,600,878	1,600,878
為替換算調整勘定	<u>1,921,427</u>	1,883,894
評価・換算差額等合計	<u>338,756</u>	411,092
少数株主持分	649,593	712,145
純資産合計	<u>10,001,673</u>	10,326,054
負債純資産合計	<u>28,691,744</u>	30,430,408

(訂正後)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,920,813	4,644,369
受取手形及び売掛金	5,784,648	6,972,215
商品及び製品	<u>1,485,753</u>	1,282,782
仕掛品	<u>1,833,404</u>	1,642,705
原材料及び貯蔵品	<u>694,608</u>	657,581
繰延税金資産	149,843	189,708
その他	<u>876,613</u>	1,063,701
貸倒引当金	35,524	47,149
流動資産合計	<u>14,710,160</u>	16,405,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,944,567	6,885,829
減価償却累計額	4,380,636	4,321,088
建物及び構築物(純額)	<u>2,563,931</u>	2,564,740
機械装置及び運搬具	12,729,778	12,644,964
減価償却累計額	9,887,968	10,344,027
機械装置及び運搬具(純額)	<u>2,841,809</u>	2,300,937
土地	3,517,896	3,523,732
その他	2,269,661	2,234,355
減価償却累計額	2,096,704	2,042,186
その他(純額)	<u>172,957</u>	192,169
建設仮勘定	163,590	567,499
有形固定資産合計	<u>9,260,184</u>	9,149,079
無形固定資産		
のれん	15,601	28,080
その他	191,576	191,007
無形固定資産合計	<u>207,178</u>	219,088
投資その他の資産		
投資有価証券	3,035,929	3,144,807
繰延税金資産	<u>868,149</u>	920,345
その他	599,757	610,648
貸倒引当金	20,746	19,472
投資その他の資産合計	<u>4,483,090</u>	4,656,328
固定資産合計	<u>13,950,453</u>	14,024,495
資産合計	<u>28,660,613</u>	30,430,408

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,234,605	7,284,108
短期借入金	160,695	324,522
1年内返済予定の長期借入金	1,624,345	1,550,303
未払法人税等	53,966	123,956
繰延税金負債	5,813	3,841
賞与引当金	73,578	75,718
その他	1,486,134	1,456,023
流動負債合計	<u>9,639,138</u>	<u>10,818,474</u>
固定負債		
長期借入金	3,933,666	3,906,771
再評価に係る繰延税金負債	1,094,202	1,094,202
繰延税金負債	161	26,313
退職給付引当金	3,406,107	3,564,241
役員退職慰労引当金	147,480	166,740
負ののれん	5,493	7,374
その他	442,689	520,235
固定負債合計	<u>9,029,801</u>	<u>9,285,879</u>
負債合計	<u>18,668,939</u>	<u>20,104,353</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,729,000	1,729,000
資本剰余金	1,655,608	1,655,608
利益剰余金	5,625,043	5,824,269
自己株式	6,509	6,062
株主資本合計	<u>9,003,141</u>	<u>9,202,815</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	659,305	694,108
土地再評価差額金	1,600,878	1,600,878
為替換算調整勘定	1,921,245	1,883,894
評価・換算差額等合計	<u>338,938</u>	<u>411,092</u>
少数株主持分	649,593	712,145
純資産合計	<u>9,991,674</u>	<u>10,326,054</u>
負債純資産合計	<u>28,660,613</u>	<u>30,430,408</u>

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	17,931,958	15,607,574
売上原価	14,944,266	13,483,831
売上総利益	2,987,691	2,123,743
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	596,760	565,080
貸倒引当金繰入額	-	1,261
役員報酬	93,587	99,940
役員退職慰労引当金繰入額	12,710	8,340
給料及び手当	530,460	566,358
賞与引当金繰入額	53,339	32,359
退職給付費用	29,773	30,654
法定福利費	81,118	87,046
旅費及び交通費	73,353	75,561
租税公課	40,601	34,068
賃借料	62,896	67,228
減価償却費	48,305	41,715
のれん償却額	12,478	12,478
その他	401,840	393,258
販売費及び一般管理費合計	2,037,224	2,015,351
営業利益	950,466	108,392
営業外収益		
受取利息	7,845	9,812
受取配当金	14,161	17,779
負ののれん償却額	2,593	1,880
持分法による投資利益	90,714	76,975
助成金収入	-	28,123
その他	99,262	49,730
営業外収益合計	214,578	184,300
営業外費用		
支払利息	54,524	54,763
為替差損	98,923	23,985
その他	18,978	30,932
営業外費用合計	172,425	109,681
経常利益	992,619	183,010

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	144	131
貸倒引当金戻入額	3,071	12,747
投資有価証券売却益	-	7,660
負ののれん発生益	3,630	-
特別利益合計	6,846	20,538
特別損失		
固定資産売却損	-	80
固定資産除却損	4,656	14,580
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	5,130
特別損失合計	4,656	19,790
税金等調整前四半期純利益	994,809	183,759
法人税、住民税及び事業税	237,670	154,757
法人税等調整額	50,126	93,251
法人税等合計	287,797	248,009
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	64,249
少数株主利益	92,723	54,768
四半期純利益又は四半期純損失( )	614,288	119,017



(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	17,931,958	15,607,574
売上原価	14,944,266	<u>13,500,899</u>
売上総利益	2,987,691	<u>2,106,675</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	596,760	565,080
貸倒引当金繰入額	-	1,261
役員報酬	93,587	99,940
役員退職慰労引当金繰入額	12,710	8,340
給料及び手当	530,460	566,358
賞与引当金繰入額	53,339	32,359
退職給付費用	29,773	30,654
法定福利費	81,118	87,046
旅費及び交通費	73,353	75,561
租税公課	40,601	34,068
賃借料	62,896	67,228
減価償却費	48,305	41,715
のれん償却額	12,478	12,478
その他	401,840	393,258
販売費及び一般管理費合計	<u>2,037,224</u>	<u>2,015,351</u>
営業利益	950,466	<u>91,324</u>
営業外収益		
受取利息	7,845	9,812
受取配当金	14,161	17,779
負ののれん償却額	2,593	1,880
持分法による投資利益	90,714	76,975
助成金収入	-	28,123
その他	99,262	49,730
営業外収益合計	<u>214,578</u>	<u>184,300</u>
営業外費用		
支払利息	54,524	54,763
為替差損	98,923	23,985
その他	18,978	30,932
営業外費用合計	<u>172,425</u>	<u>109,681</u>
経常利益	992,619	<u>165,943</u>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	144	131
貸倒引当金戻入額	3,071	12,747
投資有価証券売却益	-	7,660
負ののれん発生益	3,630	-
特別利益合計	6,846	20,538
特別損失		
固定資産売却損	-	80
固定資産除却損	4,656	14,580
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	5,130
特別損失合計	4,656	19,790
税金等調整前四半期純利益	994,809	166,691
法人税、住民税及び事業税	237,670	157,770
法人税等調整額	50,126	83,352
法人税等合計	287,797	241,123
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	74,431
少数株主利益	92,723	54,768
四半期純利益又は四半期純損失( )	614,288	129,199

## 【第2四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,227,387	6,806,767
売上原価	7,637,582	<u>6,099,669</u>
売上総利益	1,589,805	<u>707,098</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	302,037	269,857
貸倒引当金繰入額	-	1,261
役員報酬	53,273	49,032
役員退職慰労引当金繰入額	835	7,505
給料及び手当	294,890	324,230
賞与引当金繰入額	11,880	14,120
退職給付費用	15,009	15,201
法定福利費	43,484	45,133
旅費及び交通費	34,388	37,467
租税公課	22,476	16,116
賃借料	31,580	28,525
減価償却費	27,566	20,731
のれん償却額	6,239	6,239
その他	190,882	179,553
販売費及び一般管理費合計	1,034,544	986,734
営業利益又は営業損失( )	555,261	<u>279,636</u>
営業外収益		
受取利息	5,262	4,243
受取配当金	10,723	12,390
負ののれん償却額	1,296	940
持分法による投資利益	40,859	38,239
助成金収入	-	28,123
その他	75,857	20,713
営業外収益合計	133,999	104,650
営業外費用		
支払利息	29,496	27,492
為替差損	83,535	28,986
その他	8,052	17,739
営業外費用合計	121,084	74,218
経常利益又は経常損失( )	568,176	<u>249,204</u>

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	144	131
貸倒引当金戻入額	309	4,553
投資有価証券売却益	-	7,631
負ののれん発生益	3,630	-
特別利益合計	4,084	12,316
特別損失		
固定資産売却損	-	7
固定資産除却損	2,360	8,459
特別損失合計	2,360	8,466
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	569,900	245,354
法人税、住民税及び事業税	144,059	74,026
法人税等調整額	9,854	38,341
法人税等合計	153,913	112,368
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	357,722
少数株主利益	45,861	14,874
四半期純利益又は四半期純損失( )	370,125	372,597

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,227,387	6,806,767
売上原価	7,637,582	6,071,382
売上総利益	1,589,805	735,385
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	302,037	269,857
貸倒引当金繰入額	-	1,261
役員報酬	53,273	49,032
役員退職慰労引当金繰入額	835	7,505
給料及び手当	294,890	324,230
賞与引当金繰入額	11,880	14,120
退職給付費用	15,009	15,201
法定福利費	43,484	45,133
旅費及び交通費	34,388	37,467
租税公課	22,476	16,116
賃借料	31,580	28,525
減価償却費	27,566	20,731
のれん償却額	6,239	6,239
その他	190,882	179,553
販売費及び一般管理費合計	1,034,544	986,734
営業利益又は営業損失( )	555,261	251,348
営業外収益		
受取利息	5,262	4,243
受取配当金	10,723	12,390
負ののれん償却額	1,296	940
持分法による投資利益	40,859	38,239
助成金収入	-	28,123
その他	75,857	20,713
営業外収益合計	133,999	104,650
営業外費用		
支払利息	29,496	27,492
為替差損	83,535	28,986
その他	8,052	17,739
営業外費用合計	121,084	74,218
経常利益又は経常損失( )	568,176	220,916

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	144	131
貸倒引当金戻入額	309	4,553
投資有価証券売却益	-	7,631
負ののれん発生益	3,630	-
特別利益合計	4,084	12,316
特別損失		
固定資産売却損	-	7
固定資産除却損	2,360	8,459
特別損失合計	2,360	8,466
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	569,900	<u>217,067</u>
法人税、住民税及び事業税	144,059	<u>84,647</u>
法人税等調整額	9,854	<u>38,100</u>
法人税等合計	153,913	<u>122,747</u>
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	<u>339,814</u>
少数株主利益	45,861	14,874
四半期純利益又は四半期純損失( )	370,125	<u>354,688</u>

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	994,809	<u>183,759</u>
減価償却費	482,844	450,126
賞与引当金の増減額(は減少)	67,529	2,140
退職給付引当金の増減額(は減少)	904,440	158,212
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,030	19,260
受取利息及び受取配当金	22,007	27,591
支払利息	54,524	54,763
固定資産売却損益(は益)	144	50
固定資産除却損	4,656	14,580
投資有価証券売却損益(は益)	-	7,660
のれん償却額	12,478	12,478
負ののれん償却額	2,593	1,880
負ののれん発生益	3,630	-
持分法による投資損益(は益)	90,714	76,975
売上債権の増減額(は増加)	1,009,796	1,205,245
たな卸資産の増減額(は増加)	369,532	<u>466,374</u>
仕入債務の増減額(は減少)	1,232,095	<u>1,042,057</u>
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(は減少)	627,234	125,748
その他	434,435	<u>196,000</u>
小計	1,503,718	189,002
利息及び配当金の受取額	138,292	121,076
利息の支払額	59,169	56,627
法人税等の還付額	9,408	15,075
法人税等の支払額	186,548	246,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405,702	21,775
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	94,537	81,588
有形固定資産の取得による支出	805,530	474,225
有形固定資産の売却による収入	228	1,865
投資有価証券の取得による支出	7,592	8,244
投資有価証券の売却による収入	66	17,075
長期貸付けによる支出	3,485	-
長期貸付金の回収による収入	2,180	120
子会社株式の取得による支出	2,520	-
その他	9,246	15,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	901,944	397,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	500,000	172,769
長期借入れによる収入	2,423,875	925,000
長期借入金の返済による支出	728,110	820,168
配当金の支払額	53,945	80,901
少数株主への配当金の支払額	110,880	124,754
その他	313	447
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,030,625	274,040

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	61,113	7,908
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,473,269	641,832
現金及び現金同等物の期首残高	3,760,773	4,481,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,234,043	3,839,721



(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	994,809	<u>166,691</u>
減価償却費	482,844	450,126
賞与引当金の増減額(は減少)	67,529	2,140
退職給付引当金の増減額(は減少)	904,440	158,212
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,030	19,260
受取利息及び受取配当金	22,007	27,591
支払利息	54,524	54,763
固定資産売却損益(は益)	144	50
固定資産除却損	4,656	14,580
投資有価証券売却損益(は益)	-	7,660
のれん償却額	12,478	12,478
負ののれん償却額	2,593	1,880
負ののれん発生益	3,630	-
持分法による投資損益(は益)	90,714	76,975
売上債権の増減額(は増加)	1,009,796	1,205,245
たな卸資産の増減額(は増加)	369,532	<u>437,511</u>
仕入債務の増減額(は減少)	1,232,095	<u>1,053,857</u>
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(は減少)	627,234	125,748
その他	434,435	<u>196,006</u>
小計	1,503,718	189,002
利息及び配当金の受取額	138,292	121,076
利息の支払額	59,169	56,627
法人税等の還付額	9,408	15,075
法人税等の支払額	186,548	246,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405,702	21,775
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	94,537	81,588
有形固定資産の取得による支出	805,530	474,225
有形固定資産の売却による収入	228	1,865
投資有価証券の取得による支出	7,592	8,244
投資有価証券の売却による収入	66	17,075
長期貸付けによる支出	3,485	-
長期貸付金の回収による収入	2,180	120
子会社株式の取得による支出	2,520	-
その他	9,246	15,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	901,944	397,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	500,000	172,769
長期借入れによる収入	2,423,875	925,000
長期借入金の返済による支出	728,110	820,168
配当金の支払額	53,945	80,901
少数株主への配当金の支払額	110,880	124,754
その他	313	447
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,030,625	274,040

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	61,113	7,908
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,473,269	641,832
現金及び現金同等物の期首残高	3,760,773	4,481,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,234,043	3,839,721

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	9,264,254	3,340,429	2,157,276	279,235	566,379	15,607,574	-	15,607,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,853,824	692	752,205	145,538	-	3,752,260	3,752,260	-
計	12,118,078	3,341,121	2,909,482	424,773	566,379	19,359,835	3,752,260	15,607,574
セグメント利益又は損失( )	220,610	<u>39,185</u>	303,052	5,468	19,152	<u>67,878</u>	<u>40,513</u>	<u>108,392</u>

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額40,513千円には、セグメント間の未実現損益40,703千円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	4,150,240	1,325,051	896,404	149,429	285,642	6,806,767	-	6,806,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,284,816	630	320,403	56,278	-	1,662,129	1,662,129	-
計	5,435,056	1,325,681	1,216,808	205,708	285,642	8,468,897	1,662,129	6,806,767
セグメント利益又は損失( )	326,286	<u>57,111</u>	96,496	2,539	11,253	<u>278,186</u>	<u>1,449</u>	<u>279,636</u>

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額1,449千円には、セグメント間の未実現損益1,033千円等が含まれております。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

<後略>

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	9,264,254	3,340,429	2,157,276	279,235	566,379	15,607,574	-	15,607,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,853,824	692	752,205	145,538	-	3,752,260	3,752,260	-
計	12,118,078	3,341,121	2,909,482	424,773	566,379	19,359,835	3,752,260	15,607,574
セグメント利益又は損失( )	220,610	<u>56,253</u>	303,052	5,468	19,152	<u>50,810</u>	<u>40,514</u>	<u>91,324</u>

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額40,514千円には、セグメント間の未実現損益40,704千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	4,150,240	1,325,051	896,404	149,429	285,642	6,806,767	-	6,806,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,284,816	630	320,403	56,278	-	1,662,129	1,662,129	-
計	5,435,056	1,325,681	1,216,808	205,708	285,642	8,468,897	1,662,129	6,806,767
セグメント利益又は損失( )	326,286	<u>28,824</u>	96,496	2,539	11,253	<u>249,900</u>	<u>1,448</u>	<u>251,348</u>

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額1,448千円には、セグメント間の未実現損益1,032千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

<後略>

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 1,040.50円	1株当たり純資産額 1,069.51円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 68.32円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額( ) 13.24円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	614,288	119,017
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	614,288	119,017
期中平均株式数(千株)	8,990	8,988

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 41.17円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額( ) 41.45円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	370,125	372,597
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	370,125	372,597
期中平均株式数(千株)	8,989	8,988

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 1,039.38円	1株当たり純資産額 1,069.51円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 68.32円	1株当たり四半期純損失金額( ) 14.37円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	614,288	129,199
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	614,288	129,199
期中平均株式数(千株)	8,990	8,988

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 41.17円	1株当たり四半期純損失金額( ) 39.46円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	370,125	354,688
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	370,125	354,688
期中平均株式数(千株)	8,989	8,988

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月20日

株式会社ニチリン  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 文彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニチリンの平成23年1月1日から平成23年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニチリン及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年8月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。